

# 2014年12月期 決算説明会

2015年2月16日

JUKI株式会社

代表取締役社長 清原 晃

*Mind & Technology*

**JUKI**

*Mind & Technology*

# 目次

## 第1部 2014年12月期(2014年度)業績の概要

- |               |   |
|---------------|---|
| 1. 業績推移・配当    | 3 |
| 2. 経常利益増減要因   | 5 |
| 3. 主要財務項目推移   | 6 |
| 4. キャッシュ・フロー  | 7 |
| 5. セグメント別業績推移 | 8 |

## 第2部 中期経営計画(2015-2016年)の概要

- |                |    |
|----------------|----|
| 1. ビジョンと基本方針   | 13 |
| 2. 中期経営計画の位置づけ | 16 |
| 3. 事業戦略        | 17 |

**第1部**  
**2014年12月期(2014年度)**  
**業績の概要**

アジアの新興国市場では縫製機器事業が前年に引き続き堅調であったことに加え、円安基調で推移したことなどにより、前年同期比14%増収

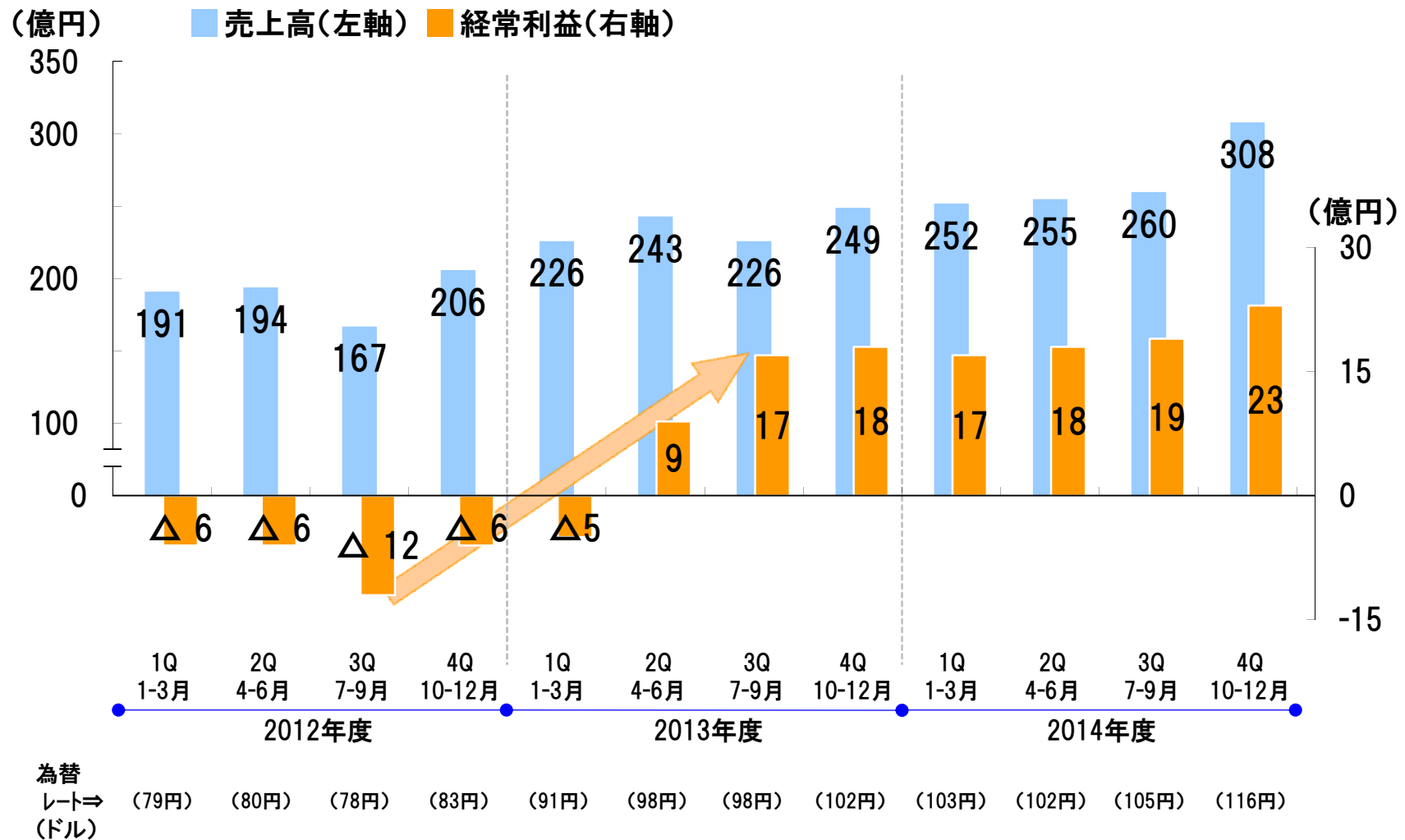
売上の増加及び前年より実施しているグループ全体の構造改革の効果もあり、営業・経常・当期純利益とも大幅増益

	(百万円)				[参考]	(百万円)			
	12/12期 (12年度)	13/12期 (13年度) 〈A〉	14/12期 (14年度) 〈B〉	前年同期比 増減額 〈B-A〉 (増減率)	14/12期(2014年度)四半期実績				
	12年1-12月	13年1-12月	14年1-12月		1Q	2Q	3Q	4Q	
					14年1-3月	14年4-6月	14年7-9月	14年10-12月	
売上高	75,831	94,385	107,581	13,195 (14.0%)	25,201	25,533	26,016	30,831	
営業利益	△1,451 [△1.9%]	5,151 [5.5%]	8,217 [7.6%]	3,065 (59.5%)	1,867 [7.4%]	1,814 [7.1%]	2,168 [8.3%]	2,368 [7.7%]	
経常利益	△2,996 [△4.0%]	3,878 [4.1%]	7,710 [7.2%]	3,831 (98.8%)	1,734 [6.9%]	1,775 [7.0%]	1,860 [7.1%]	2,341 [7.6%]	
当期純利益	△8,342 [△11.0%]	* 3,006 [3.2%]	6,058 [5.6%]	3,051 (101.5%)	1,113 [4.4%]	1,455 [5.7%]	1,646 [6.3%]	1,844 [6.0%]	
配当	0円/株	0円/株	4円/株	4円/株	—	—	—	—	
為替 レート	ドル ユーロ	80円 103円	97円 129円	106円 141円	9円 12円	103円 141円	102円 140円	105円 138円	116円 144円

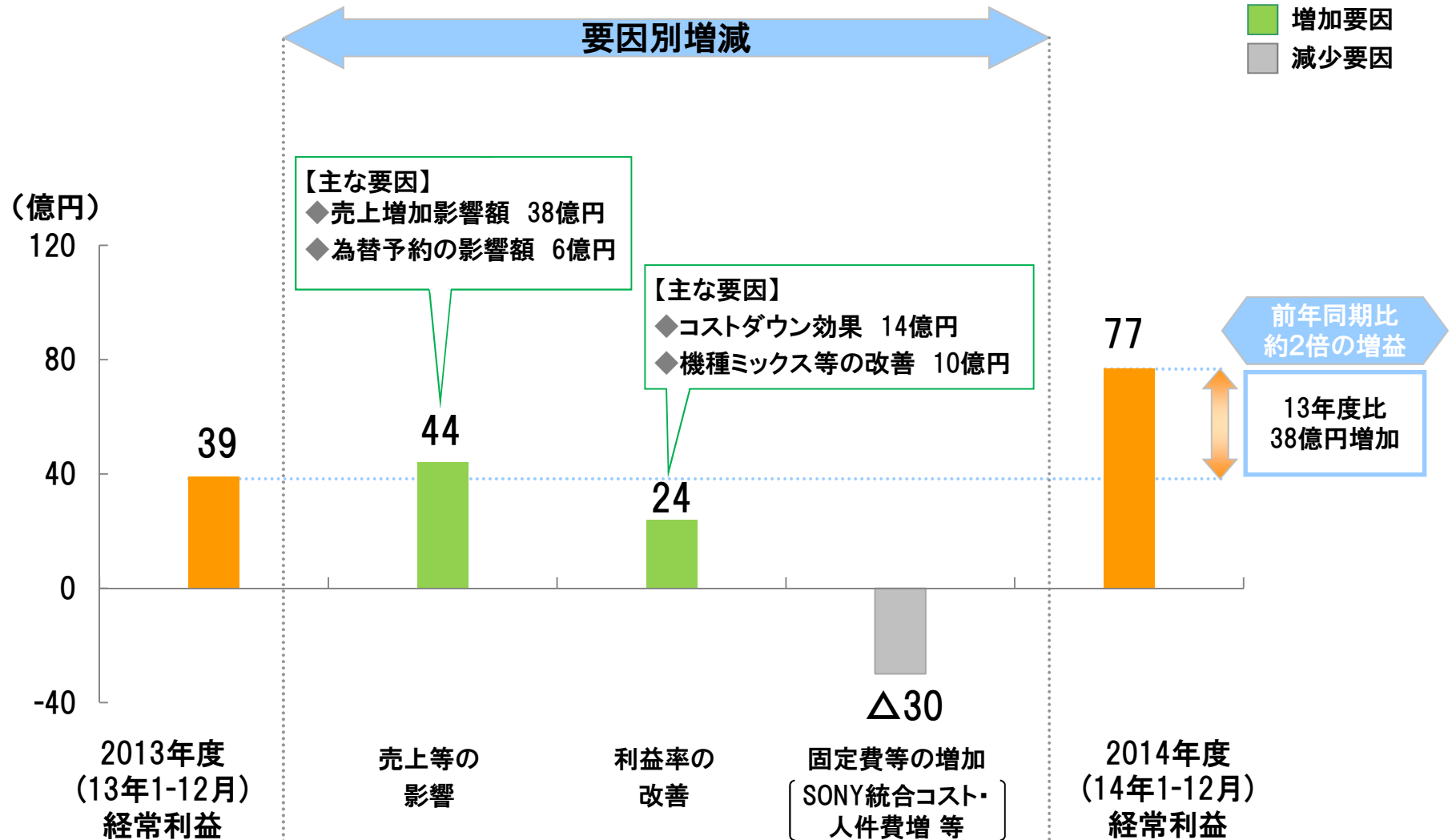
\* 為替レートは営業利益に影響する期中平均レート \* [ ]は売上高利益率

※13年度の特別損失(16.4億円)の内訳:希望退職者の募集による特別退職金14.8億円、その他1.6億円

- 売上高、経常利益ともに2012年度3Qをボトムに、大幅改善
- 2013年度は構造改革により収益力が大幅向上。2014年度はコストアップ要因を吸収した上で、売上高経常利益率7%の水準を堅持し、収益力は着実に向上中



固定費等の増加(△30億円)があったが、売上等の影響(44億円)と利益率の改善(24億円)により、前年同期比38億円の増益



- 自己資本比率は、利益剰余金の増加(61億円)と増資(42億円)等により、18.4%に上昇
- 在庫は期末に円安になったこともあり59億円の増加
- 有利子負債も円安の影響があったが、為替影響を除くと33億円減少  
(百万円)

	13/12期末 (13年12月末) 〈A〉	14/12期 (14年12月末) 〈B〉	増減額 〈B-A〉	
総資産	113,189	130,751	17,561	
純資産 [利益剰余金]	11,806 [△2,304]	25,010 [3,754]	※1 13,203 [6,058]	
純資産比率	10.4%	19.1%	8.7%	
自己資本比率	10.1%	18.4%	8.3%	
売上債権	24,879	31,275	6,396	
在庫 [在庫回転期間]	44,328 [5.6ヵ月]	50,248 [5.6ヵ月]	※2 5,919 [0ヵ月]	
仕入債務	11,875	13,892	2,017	
有利子負債	75,508	74,748	※3 △761	
現預金	6,254	9,491	3,236	
為替レート (期末)	ドル	105円	121円	16円

※1【純資産の増加額132億円の  
主要内訳】

- ① 利益剰余金+61億円
- ② 増資+42億円
- ③ 為替換算調整勘定+21億円
- ④ 少数株主持分+6億円

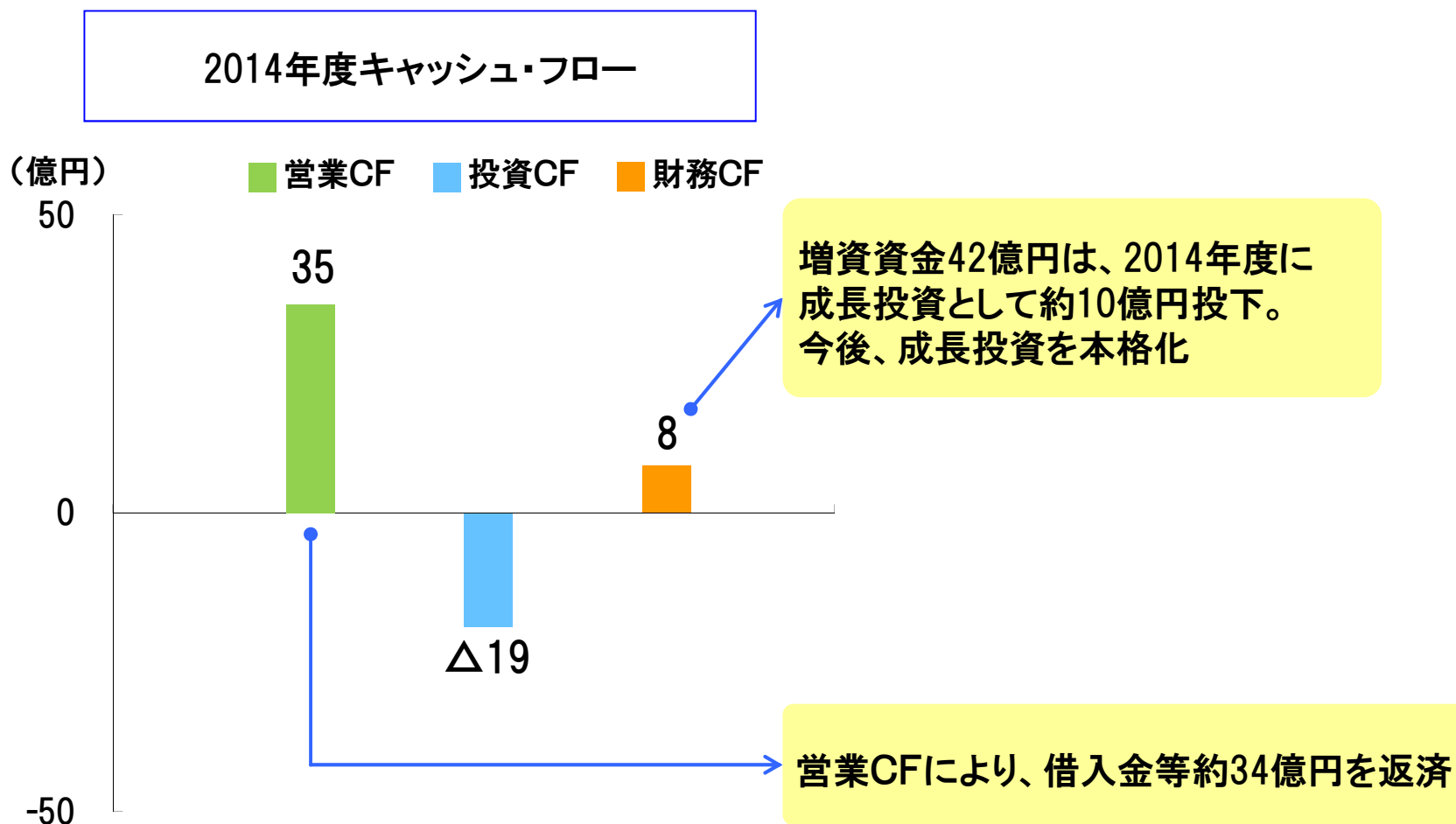
※2【在庫】

- ・うち為替影響額+4,150百万円  
⇒実質増加額 1,769百万円

※3【有利子負債】

- ・うち外貨建借入に対する  
為替影響額+2,575百万円  
⇒実質減少額 3,336百万円

- 営業CFにより借入金等を返済。増資資金により、今後、成長投資を本格化





縫製機器は、アパレル縫製産業において、生産地が中国からアジアの新興国地域へとシフトが拡大し、また、ノンアパレルの縫製事業向けの売上が増加したことなどから13%増収

産業装置は、新製品並びに事業領域拡大に伴う仕入商品などが販売へ寄与したことや省力化設備の売上増などにより、前年同期比19%増収

	(百万円)				[参考]	(百万円)			
	12/12期 (12年度)	13/12期 (13年度) 〈A〉	14/12期 (14年度) 〈B〉	前年同期比 増減額 〈B-A〉 (増減率)	14/12期(2014年度)四半期実績				
	12年1-12月	13年1-12月	14年1-12月		1Q	2Q	3Q	4Q	
					14年1-3月	14年4-6月	14年7-9月	14年10-12月	
縫製機器	52,424	68,836	77,991	9,155 (13.3%)	18,657	18,494	18,482	22,358	
産業装置	16,480	18,826	22,432	3,606 (19.2%)	4,792	5,269	5,739	6,632	
その他	6,926	6,723	7,157	434 (6.5%)	1,751	1,770	1,794	1,842	
合計	75,831	94,385	107,581	13,195 (14.0%)	25,201	25,533	26,016	30,831	

縫製機器は、コストダウン効果及び採算性の良いノンアパレルなどの売上が増加し、収益力が大幅改善

産業装置は、SONYグループとの事業統合による新製品の本格的販売に向けて、機能向上や周辺機器の開発経費を先行投下

	(百万円)				[参考]	(百万円)			
	12/12期 (12年度)	13/12期 (13年度) 〈A〉	14/12期 (14年度) 〈B〉	前年同期比 増減額 〈B-A〉 〔利益率の 増減〕	14/12期(2014年度)四半期実績				
	12年1-12月	13年1-12月	14年1-12月		1Q	2Q	3Q	4Q	
					14年1-3月	14年4-6月	14年7-9月	14年10-12月	
縫製機器	△503 〔△1.0%〕	3,840 〔5.7%〕	7,306 〔9.4%〕	3,466 〔3.7%〕	1,735 〔9.3%〕	1,964 〔10.6%〕	1,961 〔10.6%〕	1,646 〔7.4%〕	
産業装置	△1,029 〔△6.2%〕	419 〔2.2%〕	71 〔0.3%〕	△348 〔△1.9%〕	68 〔1.4%〕	△230 〔△4.4%〕	39 〔0.7%〕	194 〔2.9%〕	
その他	333 〔4.8%〕	269 〔4.0%〕	323 〔4.5%〕	54 〔0.5%〕	49 〔2.8%〕	119 〔6.7%〕	80 〔4.5%〕	75 〔4.1%〕	
調整額	△1,796	△651	9	660	△119	△76	△220	424	
合計	△2,996 〔△4.0%〕	3,878 〔4.1%〕	7,710 〔7.2%〕	3,831 〔3.1%〕	1,734 〔6.9%〕	1,775 〔7.0%〕	1,860 〔7.1%〕	2,341 〔7.6%〕	

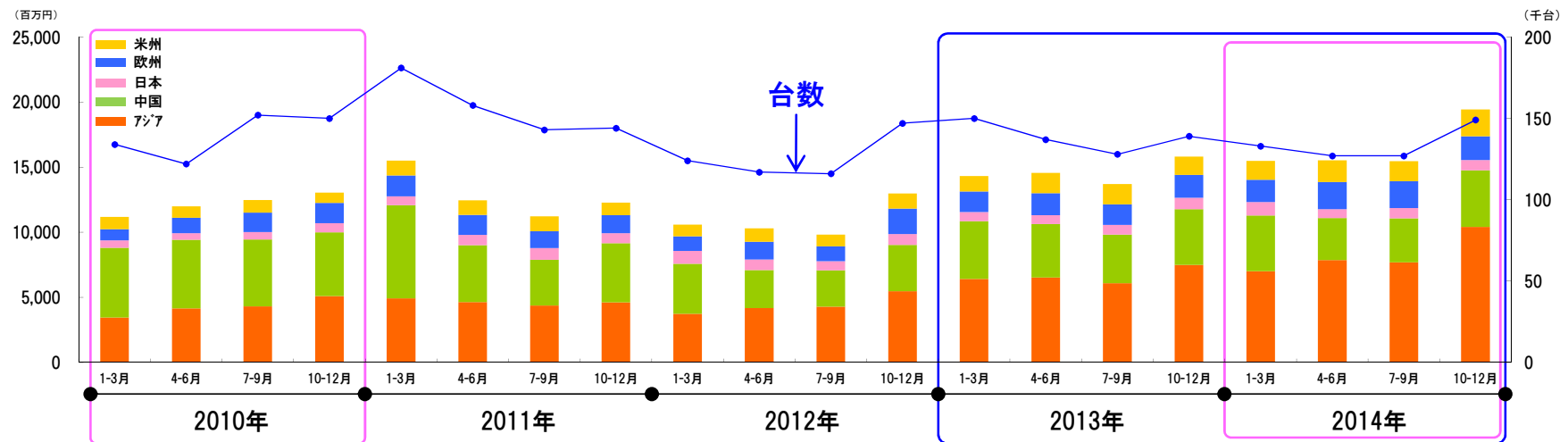
[ ]は売上高経常利益率

(参考①)

セグメント別業績 地域別売上高(縫製機器:工業用マシン)

- アジアの新興国地域での販売が好調で、売上高比率は50%に拡大
- 中国のウエートは低下

【縫製機器:工業用マシン製品の地域別売上高推移】



【売上高:前年同期比較】

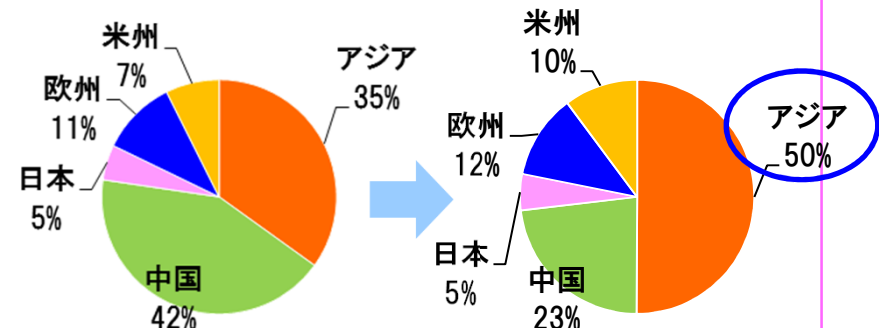
(億円)

	2013年 (1-12月)	2014年 (1-12月)	増減額	増減率
アジア	266	330	64	24.1%
中国	165	152	△13	△7.9%
日本	30	33	3	10.0%
欧州	66	77	11	16.7%
米州	57	67	10	17.5%
合計	584	659	75	12.8%

【売上高構成比率:2010年1-12月との比較】

2010年(1-12月)

2014年(1-12月)



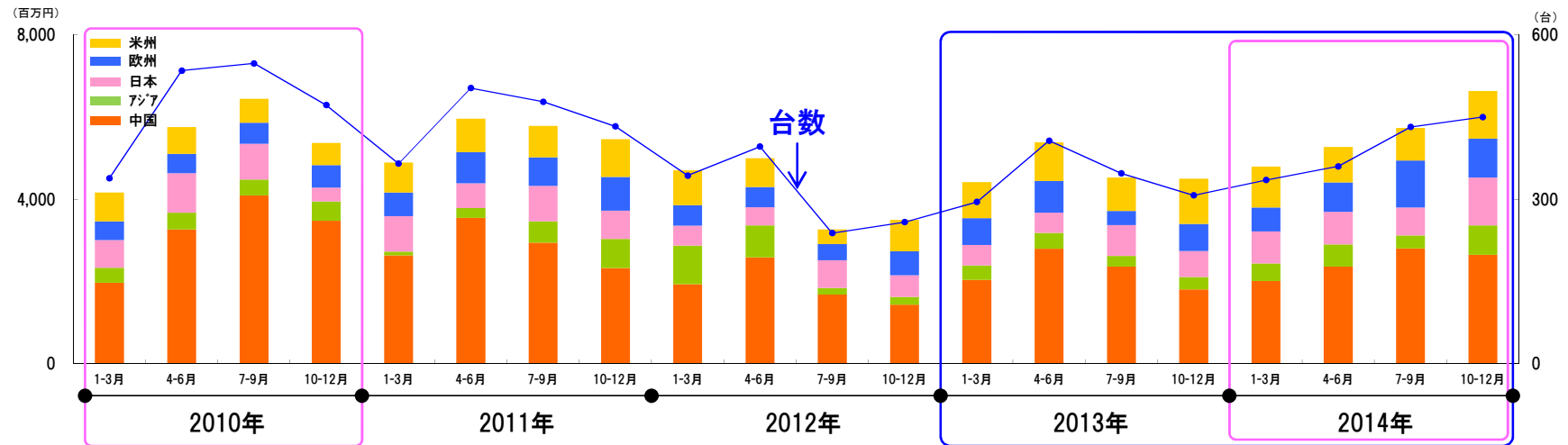
(注)月次の工業用マシン製品の販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

(参考②)

セグメント別業績 地域別売上高(産業装置)

日本、欧州、アジア向けの売上が増加したことにより増収

【産業装置：地域別売上高推移】



【売上高：前年同期比較】

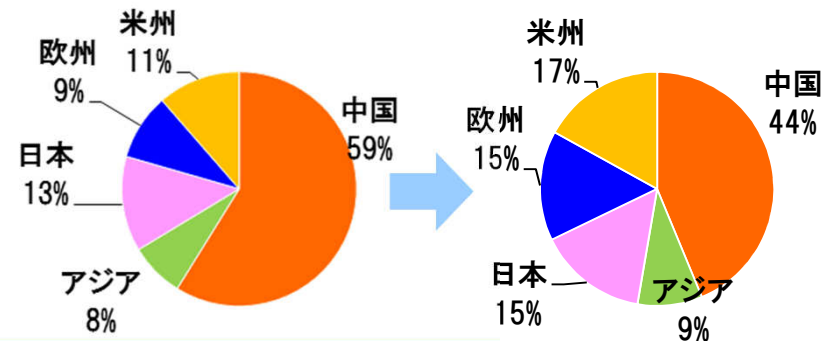
(億円)

	2013年 (1-12月)	2014年 (1-12月)	増減額	増減率
中国	90	98	8	8.9%
アジア	13	20	7	53.8%
日本	24	34	10	41.7%
欧州	24	34	10	41.7%
米州	37	38	1	2.7%
合計	188	224	36	19.2%

【売上高構成比率：2010年1-12月との比較】

2010年(1-12月)

2014年(1-12月)



(注)月次の販売数字を集計したものであり決算数字とは合致しない

## 第2部

# 中期経営計画(2015-2016年)の概要

全社  
ビジョン

**21世紀を生き抜くグローバルなものづくり企業**

～イノベーティブ(革新的)で活気のある社員が力を合わせ、  
変化に対応し強い事業を創り出していく企業～

基本方針 ①

持続的に収益を上げる  
ことが出来る  
事業構造の構築

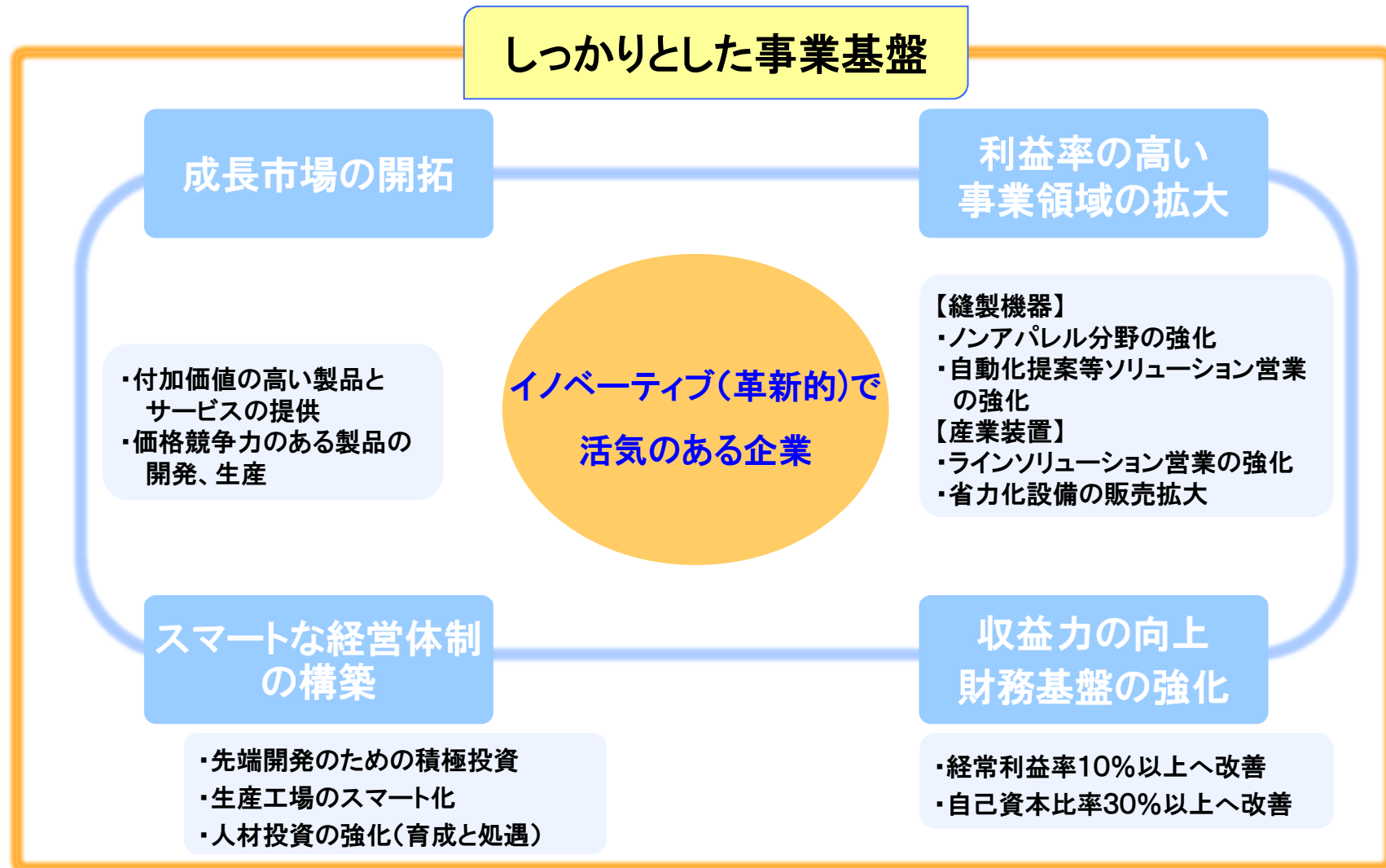
基本方針 ②

戦略実行を実現する  
専門性があり逞しい  
人材の育成

基本方針 ③

スマートな事業基盤の  
構築

## JUKIの成長サイクル



経営環境

- 米国は、金融緩和終了のフェーズ  
⇒ 当面、安定的に成長
- 新興国は、緩やかな成長を維持

【不確実性】

- ・ 中国は、経済の減速下でも産業構造を改革
- ・ 中東世界を中心に、地政学的リスクが顕在化
- ・ 原油価格下落による産油国の通貨安 等

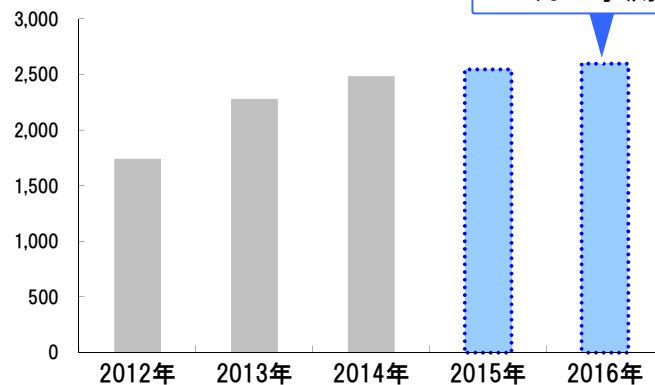
製造業の設備投資は「選ぶ投資」へ ⇒ 省力化・省人化設備には積極投資

【工業用マシンと産業装置の市場規模】

《工業用マシン》

＜市場規模＞

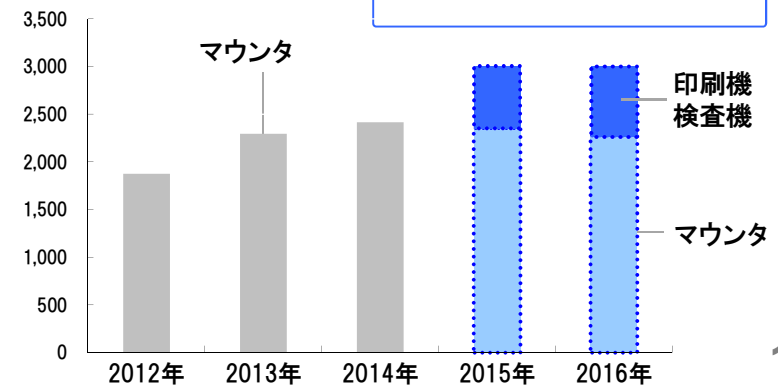
(億円) ※データ: 自社推計



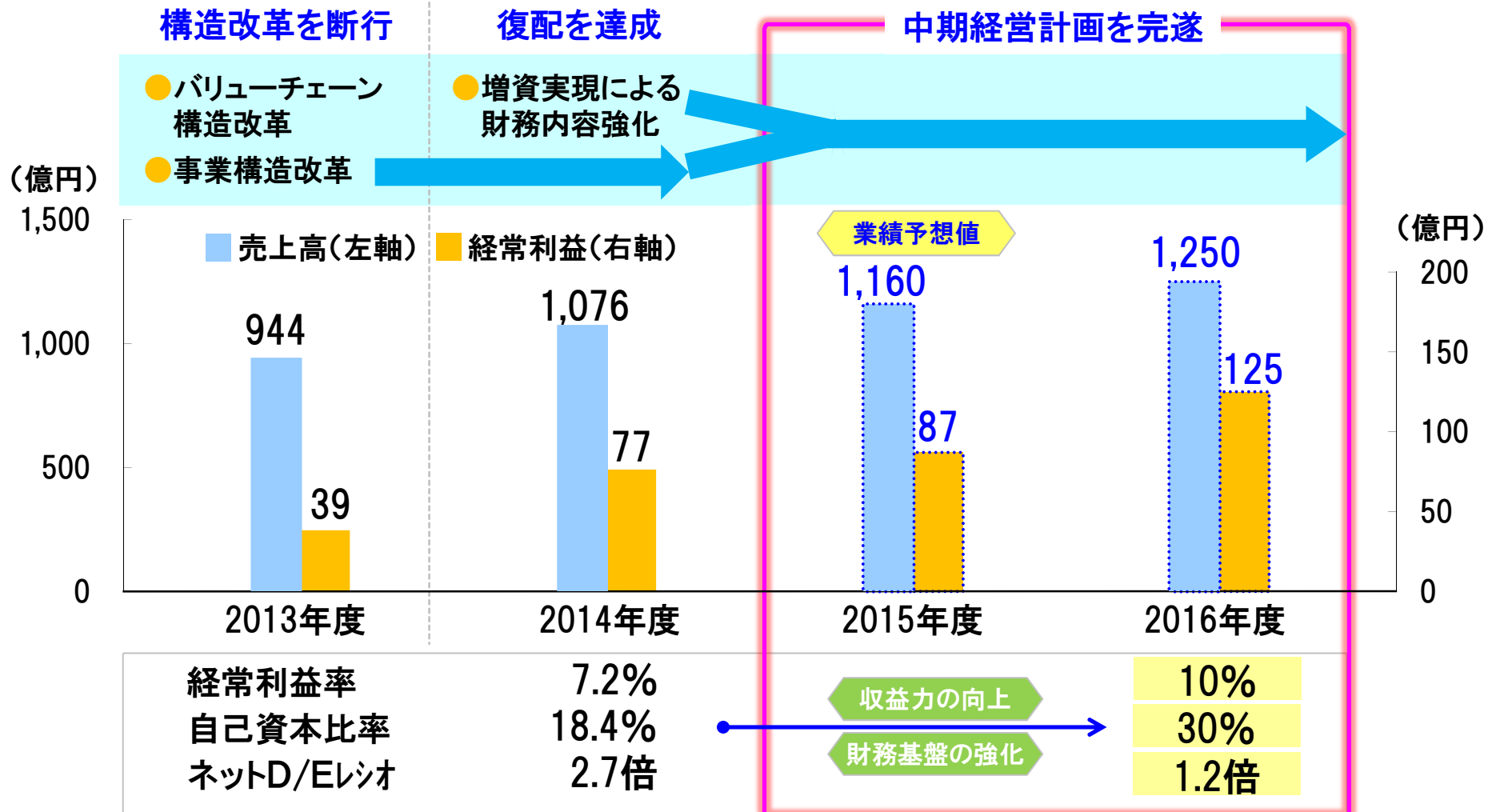
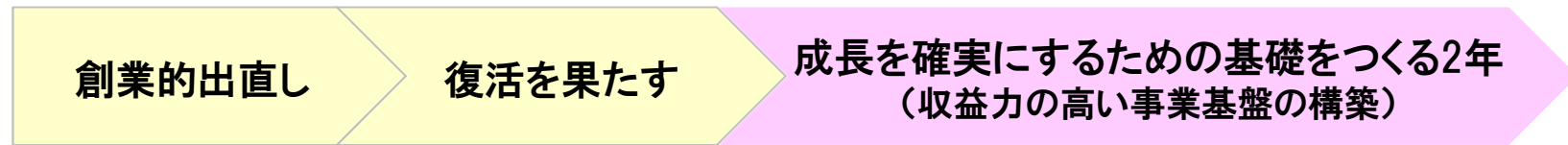
《産業装置》

＜市場規模＞

(億円) ※データ: 自社推計





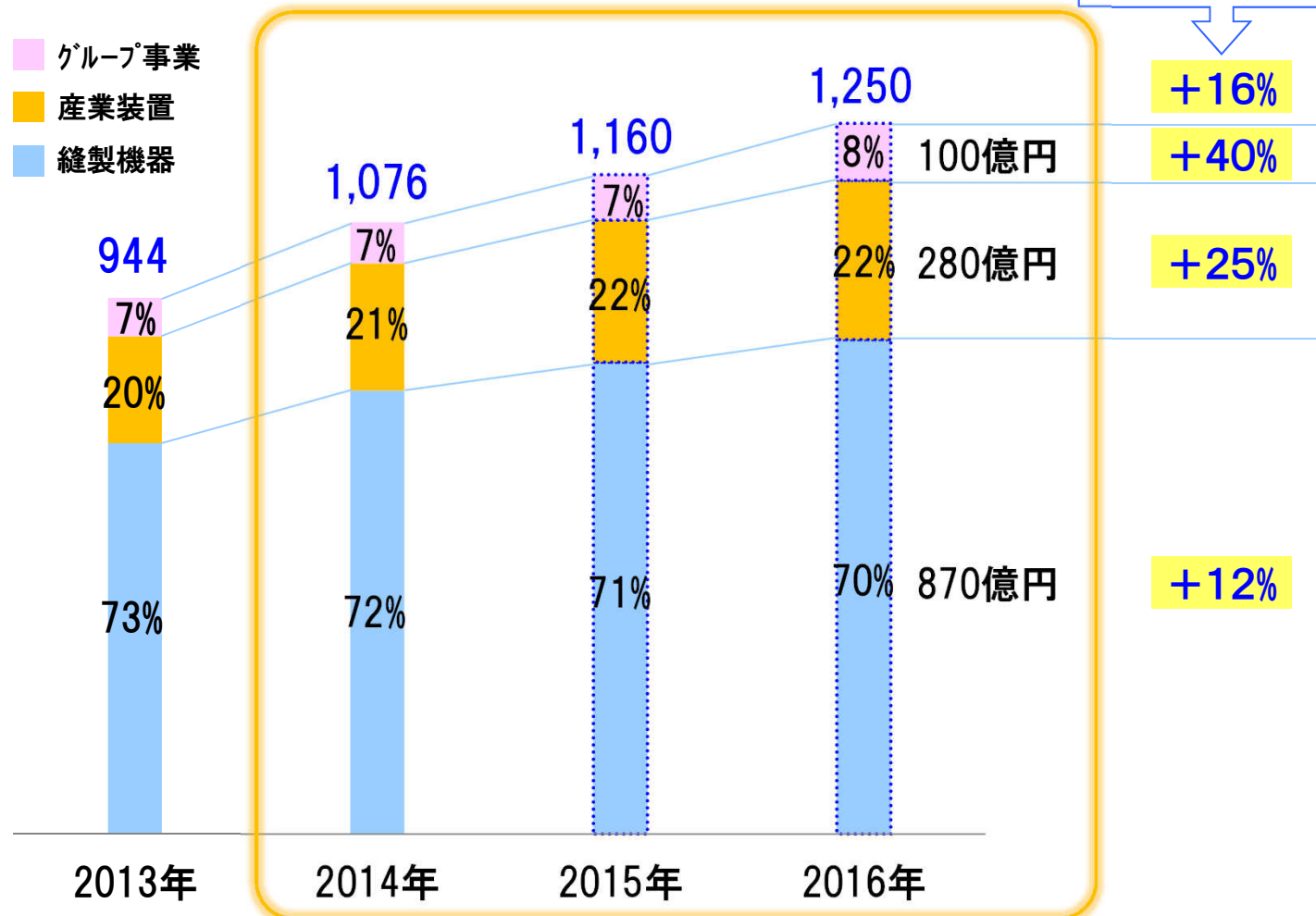


\* 中計の為替レート: 1ドル=110円

成長市場の開拓

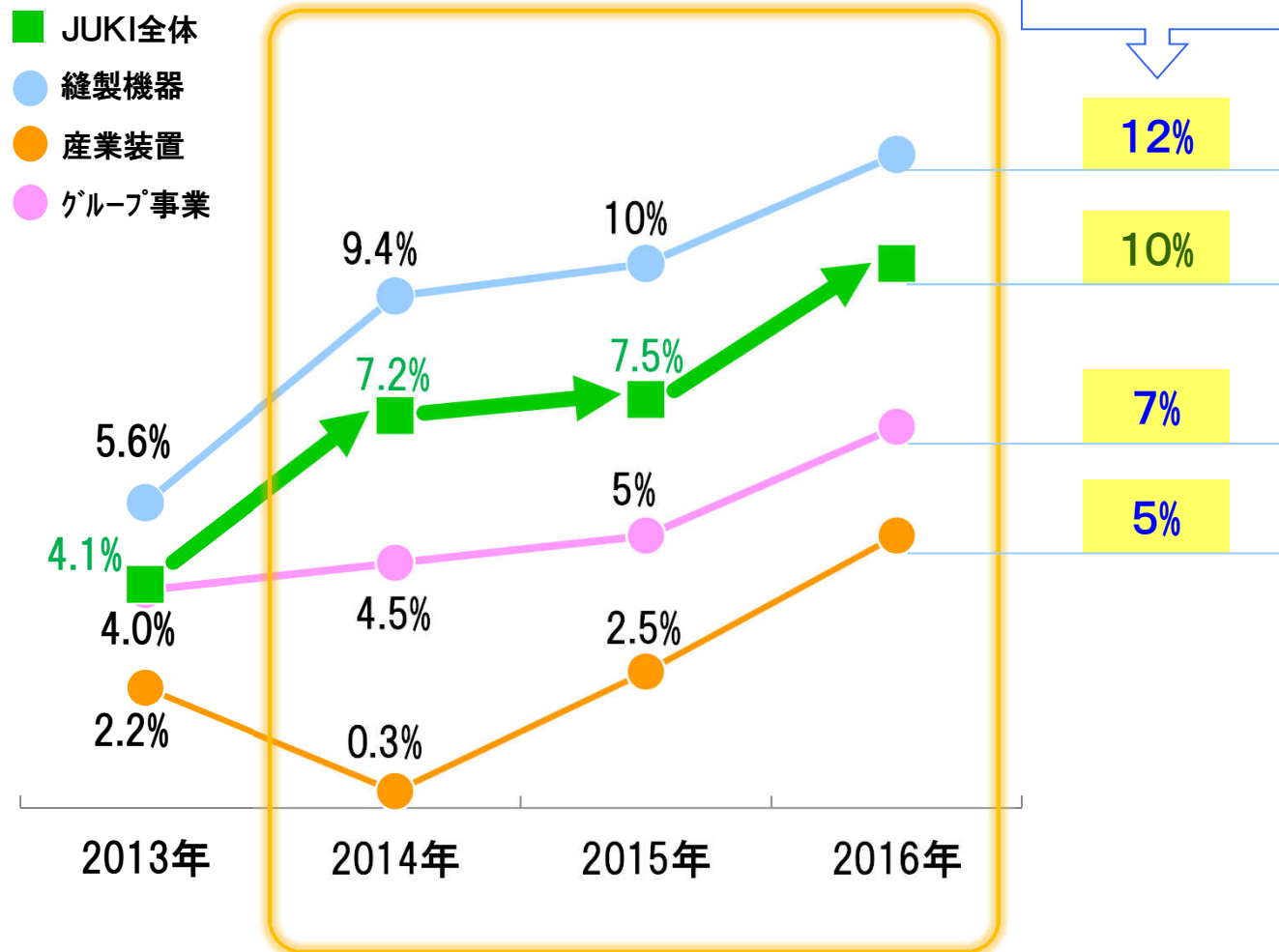
【事業セグメント別売上高】 (単位:億円)

- グループ事業
- 産業装置
- 縫製機器



## 利益率の高い事業領域の拡大

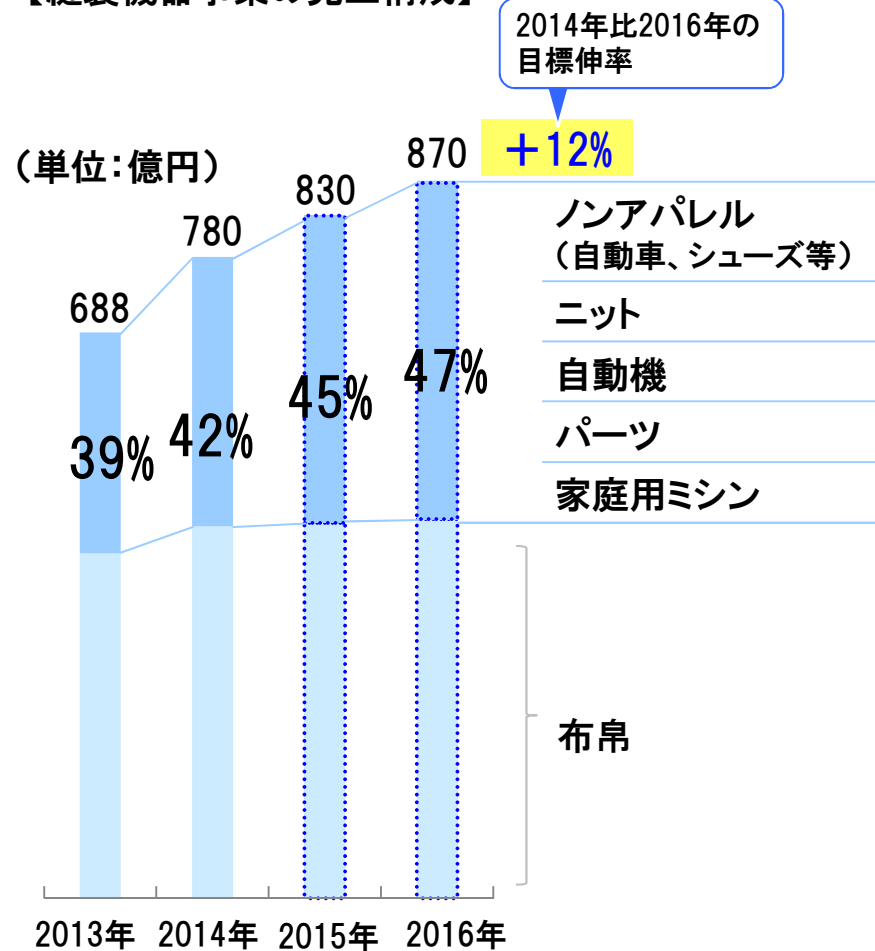
【事業セグメント別経常利益率】



## 縫製機器事業の中期計画

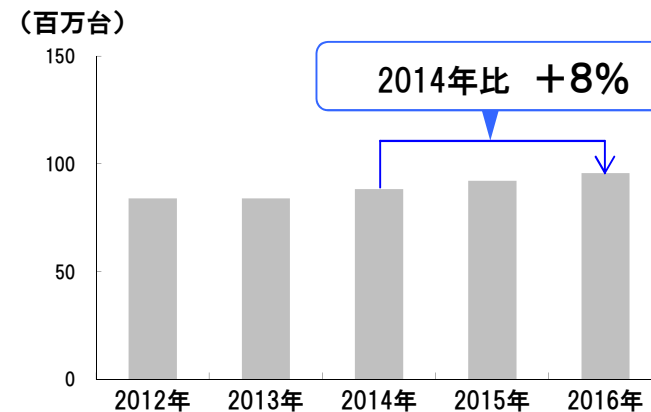
ノンアパレル、ニット、自動機、パーツ、家庭用マシンにより事業領域を拡大

【縫製機器事業の売上構成】



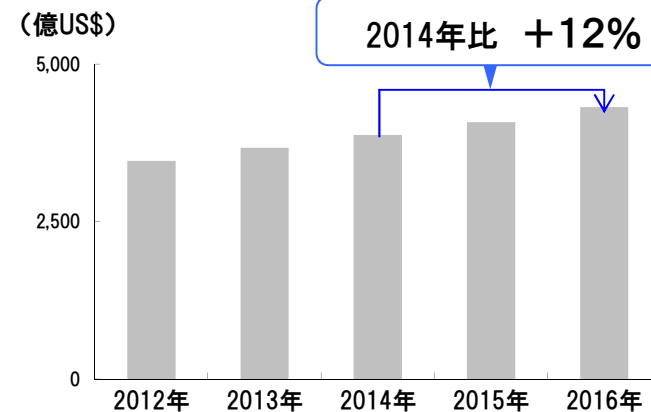
【自動車市場】

※データ: 自社推計



【シューズ市場】

※データ: 自社推計



## 工業用ミシン事業の戦略

戦略

**全業種・全地域におけるシェアNo.1事業**

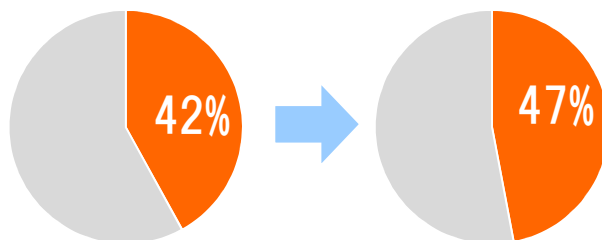
 ~ ラインソリューション(スマートソーイングシステム営業)の本格展開による  
 FA(ファクトリーオートメーション)ビジネスモデルの構築 ~

【拡大領域の売上高比率】

 ■ 拡大領域：ノンアパレル、ニット、  
 自動機、パーツ

2014年

2016年

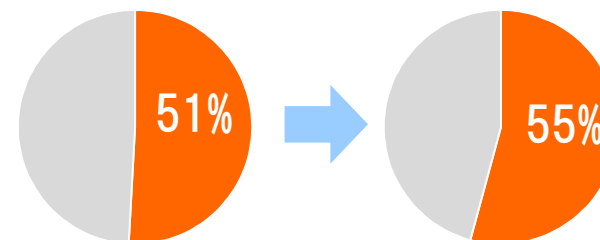


【新興国市場の売上高比率】

 ■ 新興国市場：東南アジア、南アジア  
 中南米、中近東、アフリカ

2014年

2016年



## 家庭用ミシン事業の戦略

**戦略**

### 小さくても強く輝きのある事業

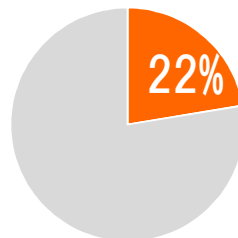
～ 消費者マーケットとの接点を重視し、工業用ミシンの技術を活用 ～

#### 【職業用・キルトミシンの当社シェア(金額ベース)】

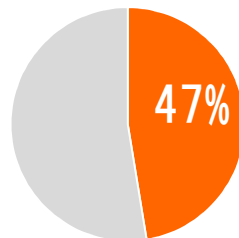
※データ: 自社推計

■ 職業用・キルトミシン

2014年



2016年



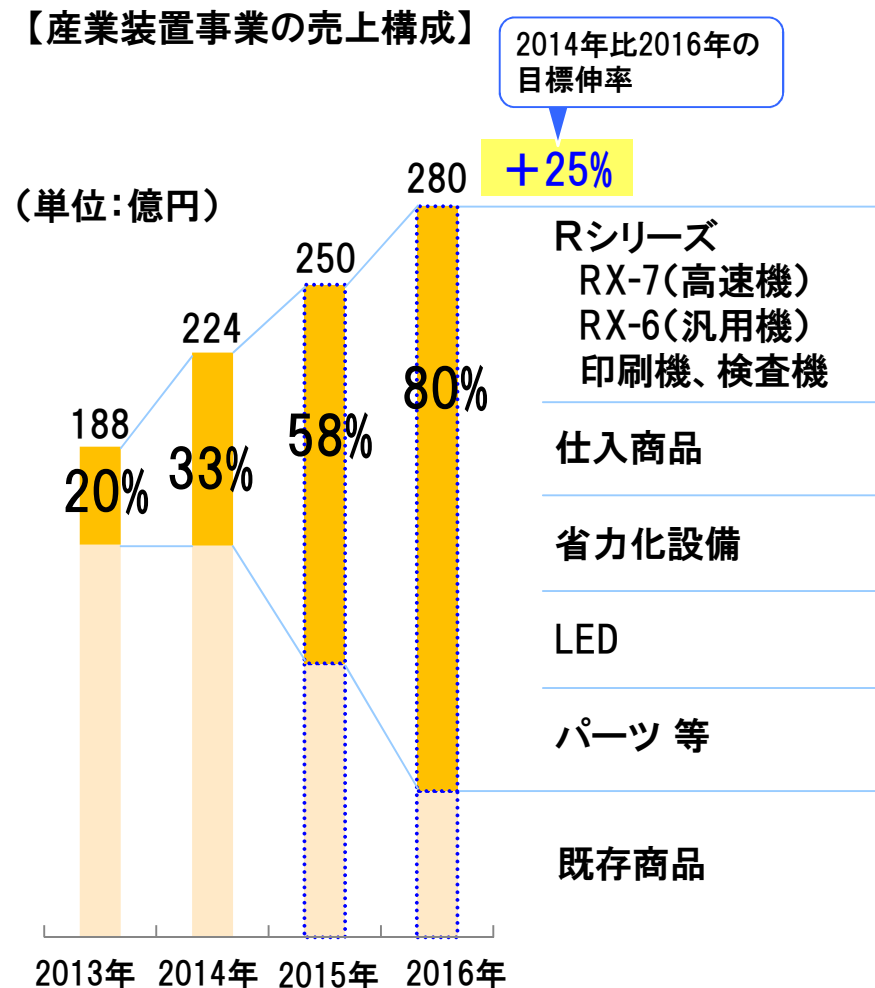
【第14回 東京国際キルトフェスティバル】  
 (1/22-1/28、東京ドーム)



産業装置事業の中期計画

Rシリーズ(新製品)、仕入商品、省力化設備等により事業領域を拡大

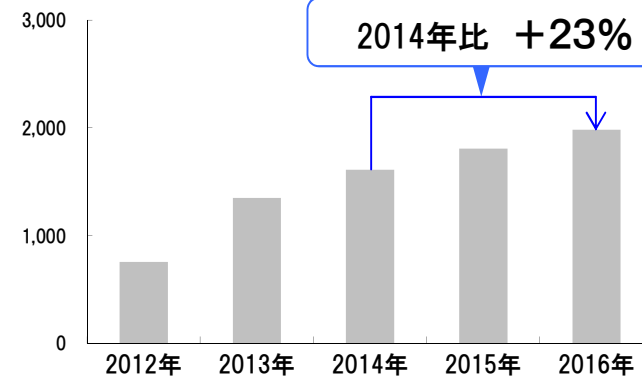
【産業装置事業の売上構成】



【スマホ・タブレット市場】

※データ: 自社推計

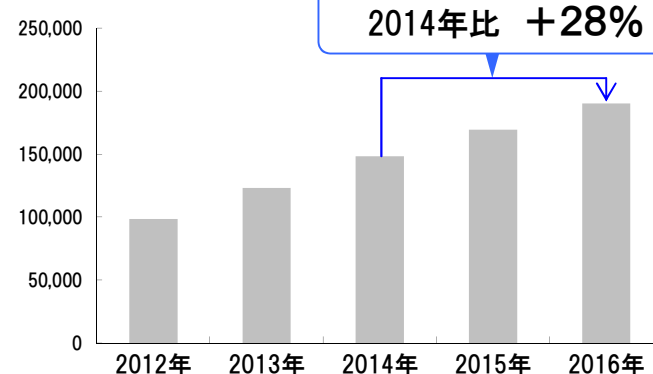
(百万台)



【LED市場】

※データ: 自社推計

(百万個)



## 産業装置事業の戦略

戦略

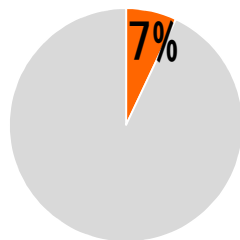
**ラインソリューション展開力に抜群の強みをもつ事業**  
 ~顧客ニーズを徹底的に収集しソリューションを提供するビジネスモデルの構築~

ラインソリューションで 51%  
 (Rシリーズ+仕入商品)

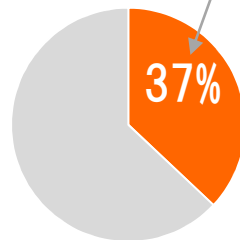
【Rシリーズの売上高比率】

■ Rシリーズ:RX-7(高速機)、RX-6(汎用機)、  
 印刷機、検査機

2014年



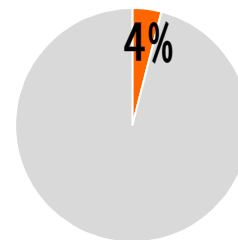
2016年



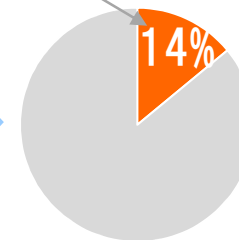
【仕入商品の売上高比率】

■ 仕入商品:他社からの仕入商品

2014年



2016年

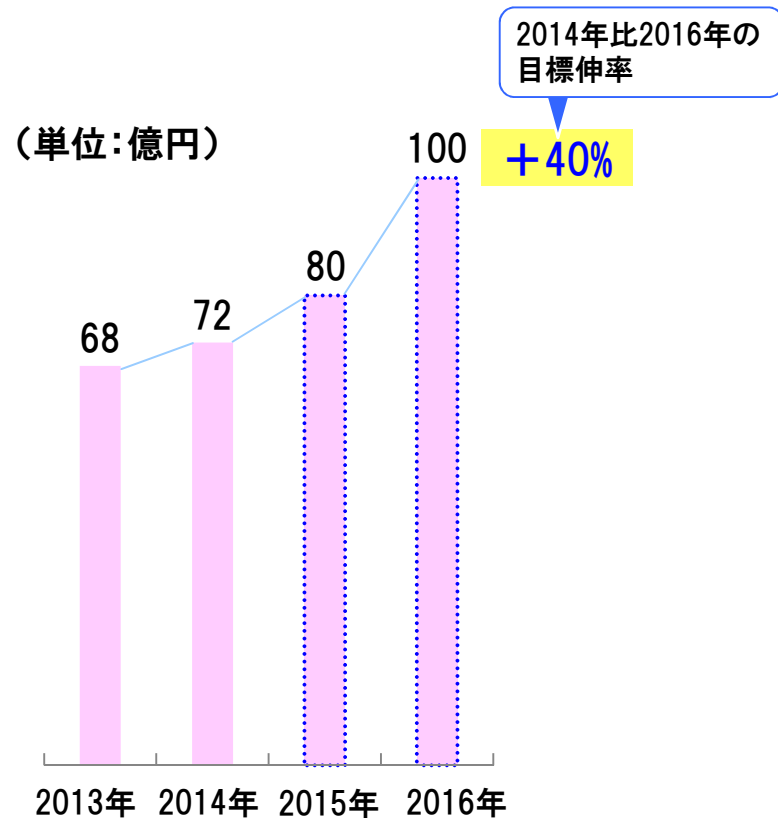




## グループ事業の中期計画

戦略

JUKI電子工業を中心とし、国内グループ会社の連携を活かした、精密加工・組立に強いものづくり企業グループ



【制御基板の設計～組立】



【ロストワックス(精密鋳造)】



【精密加工】



【プレス等】



本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等が様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。

## JUKI株式会社

お問合せ先： 総務部 総務・広報グループ 担当：寒川<sup>そう がわ</sup>

TEL :042-357-2398 FAX :042-357-2399

ホームページURL： <http://www.juki.co.jp/>